

「医者なのに TV リポーター」

広島城北医会 会長

広島城北学園 理事 **長井 敏弘** (6 回生)

クリニックを開業してもうすぐ 10 年になりますが、ストレスという名前（みなみストレス内科クリニック）のため、普通の心療内科には来ないような疾患の患者さんが多数来院されます。検査して異常がない場合「ストレスでしょう！」という医者の一言で当院紹介となるのです。原因不明の不随意運動や手足の疼痛から不登校・家庭内暴力・離婚・失恋・嫁姑問題…まで、ありとあらゆるストレス病(?)の方が列を作ってやってきます。

現在、私は広島テレビ『テレビ派』の木曜レギュラーとして出演、「健康相談室」という自分のコーナーをもらい、城北医会の先生方にも出演していただきました。また時にはテレビリポーターとして県外に取材に行くなど、塾（長井ゼミ）の経営・医業とあわせて多忙を極めており、夜 11 時までには帰宅できない状態が続いています。

しかし、人間動けるうちが華！健康には細心の注意を払いながら、今後も広島城北医会のために頑張ろうと思います。



磐石ではない安倍政権

広島城北医会 副会長 **沖宗 正明** (5 回生)

昨年 1 2 月の総選挙と今回の参議院通常選挙で自民党が圧勝したことで、一般には安倍政権は磐石になったと思われる。はたしてそうであろうか？確かに数の上では政権に不安要素はない。しかし、現実には自民党内の反安倍勢力が数多くいる。必ずしも政府の目論見通りにはならず、足を引っ張る動きが出よう。まずは秋にも決断を求められる消費税率の引き上げがある。現下の経済状況で自民党と公明党がこぞってすんなりと 3% の税率引き上げに賛同するとは思えない。TPP も火種だ。安倍総理の持病も万全ではないと聞いている。彼には「石にかじりついて」とか「殺されても辞めない」というほどの精神的な強さは無かろう。総裁選の前に言っていた靖国神社への参拝も、中国・韓国に遠慮してまだ果たせないでいる。前回同様に、意外にあっさりと政権を投げ出すような気がする。

その時期は 1 年以内とみる。
ただし、有力な後継者不在は救いかもれない。



ご挨拶

広島城北医会 副会長 **田中 宏卓** (6 回生)

私は養神館という精神科病院（250 床）にのんびりと勤務している 6 回生です。城北医会長の長井先生とは国奉寺中学一城北高校と同期で家も近く、中保健所前から遅刻ぎりぎりのバスで通っておりました。城北で高校から入学は、われわれの学年が初めてでした。高 3 では学年主任兼任の故中田英二郎先生が、わんぱくもの（といっても城北ですからたいしたことはありませんが）と、医学部受験者は、「俺が面倒見る」とおっしゃって、彼らを集めたのでそれはそれで面白い雰囲気的一年間でした。そんなこんなで卒業後は生まれ故郷の京都で予備校に通い、金沢医大に入学しました。北陸は気候不順で体質に合わず、関西医大小児科に入局しました。一昨年他界いたしました父が小児科開業医だった影響だと思えます。京都桂の大学分院時代は、「低身長と成長ホルモン」に打ち込んでいたのが唯一の専門分野でした。平成 8 年に広島へ帰ってきてからは、段々小児と縁遠くなり、寝たきり老人の医療に携わることが多くなり、最近では内科医と思われるようです。あっという間に過ぎ去った三十数年も前半の医者生活のほうが働き甲斐があったと思われるのも時代のせいでしょうか？



<卒業アルバムより>

平成 24 年度 広島城北医会 事業報告

- 1、広島城北高校同窓会奨学金チャリティーゴルフコンペ協賛
日 程：H24 年 5 月 13 日（日）
場 所：リージャスクレストゴルフクラブ
グランドコース
- 2、広島城北医会臨時役員会
日 程：H24 年 6 月 25 日（月）
場 所：全日空
議 題：広報誌について
- 3、広島城北医会・広島城北歯科医会合同幹事会
日 程：H24 年 7 月 9 日（月）
議 題：①城北医会・歯科医会総会合同懇親会について
②合同学術講演会について
日 程・演題・演者
③広島城北中高校文化祭への参加
- 4、広島城北医会学術講演会
日 程：H24 年 8 月 10 日（金）
場 所：アンデルセン
演 者：大坂大学大学院医学研究科循環器内科
部 長 増田大作先生
演 題：アンチエイジングの観点から見た脂質代謝異常
- 5、広島城北医会幹事会
日 程：H24 年 9 月 10 日（月）
議 題：①広島城北医会総会懇親会日程、議事
②広島城北高校同窓会しろやま広告（5万円）、
総会報告、記事
③広島城北中高校文化祭への参加—よろず相談
（H24 年 9 月 30 日）
④広島城北医会広報誌
⑤年会費の状況、新開業医会員
- 6、広島城北医会総会・医会歯科医会学術講演会・懇親会
日 程：H24 年 10 月 20 日（土）
1) 合同学術講演会 18：00
演 者：広島大学大学院医歯薬学総合研究所、
顎口頸頭部医科学講座 加来 真人 先生
演 題：細胞・組織の機能保存と歯の銀行
2) 広島城北医会総会 18：40
3) 懇親会：19：00—
- 7、広島城北医会幹事会（H25 年 3 月 7 日）
議 題：①H25 年度年会予定の確認
1) 歯科との合同幹事会（6 月）
2) 城北医会学術講演会日程・演者・場所（6 月）
3) 城北医会幹事会（9 月）総会日程の 2 ヶ月前
4) 総会、歯科との合同講演会、懇親会（11 月）
5) 城北医会幹事会（H26 年 3 月）
②広島城北高校同窓会奨学金チャリティーゴルフ
コンペへの参加・協賛
日 程：H25 年 5 月 12 日（日）
③広島城北中高校の健康診断への協力
④広島城北中高校学園祭への参加（医科相談）
⑤広島城北高校同窓会広報誌しろやまへの広告
協賛・総会記事
⑥広島城北医会広報誌の発行
⑦年会費、新開業医会員

平成 25 年度 広島城北医会 事業計画（案）

- 1、広島城北高校同窓会奨学金チャリティーゴルフコンペ参加・
協賛
日 程：H25 年 5 月 12 日（日）
場 所：リージャスクレスト・カントリークラブ
- 2、広島城北医会学術講演会
日 程：H25 年 6 月 28 日（金）
場 所：ホテルニューヒロデン
演 者：天野医院 天野雅夫先生
演 題：こころに効く漢方療法
—不定愁訴から精神療法まで
- 3、広島城北医会・広島城北歯科医会合同幹事会
日 程：H25 年 6 月 29 日（土）
議 題：①広島城北医会・歯科医会総会、合同学術講演会
懇親会について
②広島城北高校同窓会広報誌しろやまへの総会
報告・広告
③広島城北中高校文化祭への参加（卒業生による
職業進路相談）
④広島城北医会・歯科医会合同懇親会の日程
- 4、広島：城北医会幹事会（10 月）
議 題：①広島城北医会総会懇親会日程、議事
②広島城北高校同窓会しろやま広告、医会・歯科
医会合同総会懇親会記事
③広島城北医会広報誌
④年会費の状況、新開業医会員
⑤広島城北医会・歯科医会合同名簿発行
- 5、広島城北医会総会・医会歯科医会学術講演会・懇親会
1) 合同学術講演会
日 時：H25 年 11 月 16 日（土）18：00—18：40
場 所：広島アンデルセン
演 者：広島城北医会 会長 長井敏弘先生
演 題：モンスターペイシエントの対応について
2) 広島城北医会総会 18：45—19：00
3) 広島城北医会・歯科医会合同懇親会 19：00—
- 6、広島城北医会幹事会（H26 年 3 月）
議 題：H26 年度年会予定の確認

広島城北医会役員名簿

役職	氏名	期	所属
会長	長井 敏弘	6期	みなみストレス内科クリニック
副会長	沖宗 正明	5期	おきむね医院
	田中 宏卓	6期	養神館病院
総務	金谷 雄生	9期	金谷医院
	平昭 浩司	7期	南海田病院
	水入 寛純	25期	水入クリニック
会計	國本 優	15期	耳鼻咽喉科くにもと医院
	黒澤 逸郎	8期	黒澤波多見診療所
学術	竹岡 秀生	9期	東雲クリニック
	佐藤 悟郎	23期	草津病院
広報	生塩 元章	8期	生塩眼科
	木阪 智彦	29期	広島大学循環器内科
監事	國木 弘道	2期	医療法人社団 おおうち総合健診所
	河瀬 徹	3期	瀬戸ハイム内科

広島城北医会開業医会員

広島市 中区

瀬分 裕	1期	医療法人社団瀬分内科医院
國木 弘道	2期	おうち総合健診所にき内科
小田 一成	10期	小田耳鼻咽喉科
津田 雅敏	12期	津田内科小児科医院
津田 哲也	13期	津田耳鼻咽喉科医院
貞岡 達也	14期	貞岡耳鼻咽喉科クリニック
伊藤 欣朗	23期	伊藤内科医院
河面 智之	23期	河面内科医院
金林 秀則	25期	金林耳鼻咽喉科

広島市 東区

金谷 雄生	9期	金谷医院
浜村 宣宏	15期	浜村耳鼻咽喉科
上田 直之	21期	上田耳鼻咽喉科
小澤 敦	21期	小沢医院
山村 基成	22期	山村眼科
水入 寛純	25期	水入クリニック
松岡 龍雄	26期	広島第一病院

広島市 南区

竹内 仁志	4期	竹内クリニック (外・胃・内)
長井 敏弘	6期	みなみストレス内科クリニック
生塩 元章	8期	生塩眼科
川堀 勝史	8期	三溪会 川堀病院
竹岡 秀生	9期	東雲クリニック
和田 秀毅	10期	和田耳鼻咽喉科
太田 行紀	17期	耳鼻咽喉科おたクリニック
川崎 雅也	24期	川崎産婦人科

広島市 西区

藤浪 一宏	5期	藤浪医院
宮脇 修二	5期	宮脇耳鼻咽喉科医院
天野 幹三	9期	広島クリニック
川瀬 清	12期	川瀬内科・循環器科
平岩 健太郎	13期	医療法人ひばり 平岩内科
井上 寛己	21期	井上内科胃腸科

安芸郡

河瀬 徹	3期	瀬戸ハイム内科
平昭 浩司	7期	南海田病院
小坂 大策	8期	小坂内科医院
藤東 淳也	22期	産科・婦人科 藤東クリニック

豊田郡

積舎 龍三	12期	医療法人妙好会ときや内科
田村 淳	21期	(医社) 田村医院

廿日市市

高野 明	2期	たかの耳鼻咽喉科医院
清光 六郎	3期	せいこう胃腸科外科

東広島市

埜田 和之	15期	のだ医院
山本 滋	17期	山本内科医院
武島 裕爾	18期	アソカの園 武島医院

呉市

黒澤 逸郎	8期	黒澤波多見診療所
伊藤 克浩	14期	医療法人社団伊藤医院
菅田 宗樹	23期	医療法人社団たつき会菅田医院

安芸高田市

増田 幹雄	1期	医療法人社団 増田内科小児科医院
中村 眞己	2期	中村医院
香川 佳博	3期	佐々木クリニック
佐々木 龍司	9期	佐々木医院

広島市 安佐南区

富士田 豊	3期	富士田循環器内科
大中 稔文	11期	大中内科医院
國本 優	15期	耳鼻咽喉科くにもと医院
加藤 寿陽	16期	医療法人社団マキツボ整形外科クリニック
原田 昌彦	17期	医療法人社団三矢会原田医院
水入 康弘	22期	水入皮フ科クリニック
田代 亨	22期	田代耳鼻咽喉科医院
前田 元朗	23期	前田皮ふ科医院
辰上 雅名	27期	辰上内科医院

広島市安佐北区

中西 重清	3期	中西内科
今田 岳男	16期	医療法人社団飛翔会高陽整形外科クリニック
西山 賢治	25期	西山整形外科胃腸科
井口 雅之	28期	医療法人仁医会 井口医院

広島市佐伯区

林 和成	2期	林クリニック
小田 薫	10期	小田医院
桧田 泰	24期	医療法人社団初仁会桧田病院
今井 崇勝	25期	今井耳鼻咽喉科医院

広島市安芸区

沖宗 正明	5期	おきむね医院
畑川 祐一郎	20期	畑川小児科医院
根石 泰徳	26期	医療法人社団泰山会根石医院

竹原市

浅野 稔	12期	浅野内科医院
------	-----	--------

庄原市

国原 玄一郎	3期	国原医院
小山 晋一	22期	小山医院
戸谷 誠二	24期	聖仁会戸谷医院

三次市

小川 徹郎	2期	医療法人輝眸会 小川眼科
野村 俊也	6期	医療法人野村内科医院
岡崎 哲和	15期	医療法人社団岡崎医院
藤谷 薫	19期	藤谷クリニック
箕岡 康明	23期	箕岡内科医院
松尾 洋一郎	24期	松尾整形外科リハビリクリニック

江田島市

砂堀 亨	6期	医療法人社団砂堀医院
------	----	------------

因島市

藤井 温	12期	医療法人社団藤井医院
------	-----	------------

尾道市

高亀 良治	5期	医療法人社団樹良会高亀医院
宮野 良隆	6期	(医) みやの耳鼻咽喉科
西 俊雄	8期	(医) 西医院

福山市

市川 勉	27期	内海町いちかわ診療所
------	-----	------------

上記の皆様より会費をいただいております。

新規開業インタビュー

河面内科医院 副院長 河面 智之先生(23 回生)



—患者さんの要望、期待に応えられる医療を—

もともと安芸高田市にあった医院を昭和 54 年に現在の場所に移転。副院長は 9~10 代目にあたる。副院長の専門は糖尿病・代謝内科だが、父親である院長の専門は呼吸器内科。専門性を生かしつつ、地域医療への貢献を目指し、幅広く患者さんを受け入れている。糖尿病で受診する方は 4 割程度とのこと。

患者さんの要望に即した治療、病院運営を目指しており、患者さんの依頼で時間外の診察を行うこともしばしば。インシュリン注射を導入したことで使用方法に不安のある患者さんには携帯で指導することもある。1 日 1~2 件の往診をこなし、患者さんがいつでも来られるよう、休診日はあまり作らないようにしている。

<略歴>

平成 8 年に順天堂大学医学部を卒業。広島大学病院内科や広島赤十字原爆病院での研修の後、広島大学分子内科学へ入局。

以後は、国立療養所柳井病院や安芸市民病院を経て、広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子内科学へ入学。その後、厚生連広島総合病院や市立三次中央病院の糖尿病代謝内分泌内科医長を経て平成 24 年 4 月より河面内科医院副院長に就任。

—自分にしか目指せない医師を目指して—

患者さんから多大な信頼を得ている実直な父親を子どもの頃から尊敬していた。学生時代、父親のような医師にはなれないと悩んだものの、それなら自分にしか目指せない医師を目指そうと思った。研修医の頃に糖尿病・代謝内科で出会った先生(上司)に「糖尿病は愛だ」と言われたことを機に(？)、糖尿病・代謝内科へ。糖尿病は生活習慣病であり、生活習慣改善のための介入や支援には、患者さんの性格や生活環境への配慮も必要。そういう点で自分のやりたかったことができている実感がある。

患者さん自らが生活改善による治療を選択できるように促し、医師としてそれをサポートする姿勢で患者さんと向き合っている。



—白衣は血圧を上げる?!—

普段から白衣は着ない。ふと、白衣を着ずに患者の血圧を測ったところ、血圧が 15 程度下がる実感があり、以来白衣を着なくなったんだとか。

—緊張を和らげる空間を—

昨年 1~4 月に院内を改装。副院長の、患者さんの緊張をやわらげたいという思いから壁紙や家具は白を貴重にした明るい内装に。診察室は、副院長の机のみでなく、脇におかれたゴミ箱もウッド調の素材で統一されているといった徹底ぶり。待合には絵が飾られ、糖尿病のパンフレット等が豊富に置かれている。絵は、院長が好きだということで数多く飾られているとのこと。さらに、待合室には大きな TV 画面があり、さまざまな病気やその治療を紹介する DVD が流されており、診察を待っている間にみることができる。将来は待合室のモニターを利用して、糖尿病や生活改善のための勉強会なども実施し、生活習慣の改善を含めて総合的に患者さんに寄り添っていきたい。

—半径 600 km 圏内は日帰り?!—

趣味はドライブと写真撮影。診察室の PC には副院長の撮った写真がたくさん入っている。勤務医の頃には 18 時の勤務を終えてから白川郷(岐阜)まで行くことも。副院長曰く、半径 600 km 圏内は日帰り。家族も一緒に、時には一人でドライブを楽しんでいる。

